



消防千葉

2023 No.595 令和5年4・5月号

目次

巻頭言(千葉県防災危機管理部長)	2
令和4年度定時理事会・臨時評議員会	3
令和5年度事業計画	4・5
令和5年度主要行事予定	6
第174期消防職員初任科卒業式	7
第174期消防職員初任科実科査閲	8
第175期消防職員初任科入校式	9
千葉県消防大会・日本消防協会定例表彰式	10・11
わが町の消防団(香取市消防団)	12
東西南北	13
日々の動き	14



令和4年度佐倉市消防団女性消防部「火災予防啓発活動」 印旛支部

巻 頭 言**「過去の教訓を生かし防災力の強化を」**

千葉県防災危機管理部長 添谷 進



消防職員、消防団員の皆様には、火災や風水害などの様々な災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守るため、昼夜を問わず献身的に御尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、近年の消防を取り巻く環境は、甚大化・多様化する風水害への対応から新型コロナウイルス感染症の救急対応など、大きく変化を続けており、様々な対応が求められているところです。

また、首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模災害の発生も危惧される中、県民の安全・安心を守る消防へ寄せられる期待は益々大きくなっています。

今年は関東大震災から100年を迎えます。この100年の間にも、千葉県は度々大きな災害に見舞われてきました。

災害への備えで最も重要なことは、過去の災害から得た教訓を風化させず後世に伝えること、そして、県民が災害から自らを守る「自助」、近隣住民が協力しながら地域を守る「共助」、県や市町村等による「公助」が一体となって防災対策に取り組むことです。

県では、防災インフラの整備や、急速に進歩するデジタル技術を活用した災害対応力の向上に取り組むとともに、地域防災力の中核として重要な役割を担う消防団員の確保に向け、地域特性に応じた消防団員加入促進を図るほか、市町村が実施する消防団や自主防災組織の活動支援を行い、地域防災力の向上を推進してまいります。

消防防災体制の整備や、県民向けの防災情報発信と併せて、これらの取組を推し進めることにより、本県の防災力の強化を進めてまいりますので、消防関係の皆様方におかれましても、引き続き、地域住民の安全・安心を守るため、一層の御協力をお願い申し上げます。

結びに、消防防災体制の強化、消防行政の円滑な推進のため、御指導御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、就任の御挨拶とさせていただきます。

令和4年度 千葉県消防協会定時理事会・臨時評議員会

令和5年度事業計画・収支予算等を議決

令和5年3月14日(火)千葉県消防協会定時理事会が千葉市内で開催されました。

石橋会長の挨拶の後、令和4年度収支補正予算、令和5年度事業計画及び収支予算など9議案について審議が行われ、全議案について決議を得て、3月28日(火)に開催された臨時評議員会において、全議案とも原案どおり承認及び決議されました。

決議・承認された議案及び報告事項等は次のとおりです。

【定時理事会】

◆ 議 案

議案第1号：令和4年度公益財団法人千葉県消防協会の収支補正予算について

議案第2号：令和5年度公益財団法人千葉県消防協会の事業計画について

議案第3号：令和5年度公益財団法人千葉県消防協会の収支予算について

議案第4号：令和5年度公益財団法人千葉県消防協会の資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について

議案第5号：情報セキュリティ基本方針の制定について

議案第6号：公益財団法人千葉県消防協会特定個人情報取扱規則の改正について

議案第7号：公益財団法人千葉県消防協会の会員に関する規程の改正について

議案第8号：公益財団法人千葉県消防協会の常務理事の選定について

議案第9号：公益財団法人千葉県消防協会の評議員会の開催について

◆ 報告事項

○令和4年12月以降の職務の執行状況について

○公益財団法人千葉県消防協会の資産運用について

◆ その他

○公益財団法人千葉県消防協会の令和5年度主要行事予定について

○全国女性消防操法大会について

○全国女性消防団員活性化石川大会について

○新日本消防会館の建設について



石橋会長挨拶



定時理事会



臨時評議員会

令和5年度事業計画

(公財) 千葉県消防協会

近年の自然災害は多様化、大規模化しており、東日本大震災以降も想定を超えた災害が多発し、全国各地に甚大な被害をもたらしています。特に、風水害の激甚化が著しく、令和元年の房総半島台風をはじめ、令和2年7月の熊本県を中心とした豪雨災害、令和3年7月の大雨では、静岡県熱海市における土石流の被害を中心に複数の都府県で多くの人命や財産が失われたところであり、今後についても、大規模な災害の発生が危惧されています。

また、新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株など変異株の流行により、いまだ収束の見通しが立たず、消防・防災活動にも大きな影響を与えています。

そのような中、消防防災の要である常備消防及び消防団の一層の充実強化が求められており、当協会としても、平成25年に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨を踏まえ、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化を図るため令和5年度は、引続き、新型コロナウイルス感染予防対策に十分努めながら、以下の事業を実施します。

I 公益目的事業

1. 防災思想普及事業

県民の防火・防災に関する知識と技術の普及啓発、防災訓練等の充実、防火・防災組織の活動促進等を図るための事業

- (1) 機関誌「消防千葉」を発行し、常備消防・消防団の活動などの紹介記事等を通じて消防防災思想の普及啓発を図る。
年8回／各5,000部発行
- (2) 「千葉県消防操法」(第6次改訂版)を頒布し、千葉県消防操法の技術向上を図る。
- (3) 消防庁が提唱する全国火災予防運動に千葉県とともに協力する。
- (4) 第44回九都県市合同防災訓練・千葉県会場を、千葉県・開催市との共催により実施する。
(我孫子市)
- (5) 火災予防思想の普及・啓発等を図るため、千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援する。

2. 教育訓練事業

消防・防災能力の拡充のため、消防職・団員の知識・技能の向上、消防操法の普及と訓練成果の発表、及び消防関係機関の連携・協力等を図るための事業

- (1) 消防団幹部を養成するため、消防団員指導員研修を実施するとともに、日本消防協会主催の各種研修会への参加を促進する。
また、千葉県消防学校、千葉市消防学校及び消防大学校(国)の所定の課程を終了又は卒業した者並びに日本消防協会の所定の研修を修了した者に対し、修学奨励金等を交付する。
- (2) 消防知識の一層の普及、消防技術の向上のため、各支部で消防操法大会を開催し千葉県消防操法大会に出場するチームを選抜する。
- (3) 第59回千葉県消防操法大会を県と共催で開催する。
- (4) 消防庁と日本消防協会が共催する第25回全国女性消防操法大会に参加するとともに県代表チームに助成する。
- (5) 女性消防団員の活性化等を図るため、千葉県女性消防団員活性化シンポジウムを開催する。
また、第28回全国女性消防団員活性化石川大会に参加する。
- (6) 消防関係機関との協働、連絡調整、意見交換等のために会議を開催する。
 - ア 県下市町村消防長・消防団長会議の開催
 - イ 地域振興事務所等における消防業務連絡会議の開催

3. 弔慰救済事業

郷土防災の使命を果たし、その職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るための事業

- (1) 第59回千葉県消防殉職者慰霊祭を開催する。
- (2) 日本消防協会主催の第42回全国消防殉職者慰霊祭に参加する。

4. 報償事業

消防防災に功労・功績のあったものに対して表彰し、消防士気の高揚等を図るための事業

- ・千葉県消防大会及び消防出初式において、消防協会長及び支部長による特別功労章、永年勤続功労章、功績章等の表彰を実施する。

5. 支部活動事業

各支部が実施する事業

- (1) 支部消防操法大会
各支部管内の消防団による消防操法大会を千葉県との共催で開催し、優勝チームを支部代表として県大会に出場させるために助成及び所要の支援を行う。
- (2) 表彰事業
各支部管内の出初式等において、優秀な消防職・団員を表彰し、その活動を顕彰する。
- (3) 防災思想の普及事業
各支部管内の消防（局）本部・消防団と連携して防災思想の普及を行う。

II 相互扶助事業等

1. 消防団員等を対象とした共済事業及び健康増進事業

消防職・団員等の福利厚生に資するための事業

- (1) 日本消防協会が実施している消防団員等福祉共済及び消防個人年金並びに全日本消防人共済会が実施している火災共済制度の事務処理を行い、各制度への加入促進を図る。
- (2) 消防団員の健康管理に資するため、日本消防協会の助成を受け、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成する。

2. 弔慰見舞事業

職務において死亡・障害者となった者などに対し、その崇高な活動に報いるための事業

- ・弔慰見舞金等を贈呈する。

3. 退職者報償事業

退職会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、その功績に報いるための事業

- ・感謝状及び金盃を贈呈する。

4. あっせん事業

消防職・団員の福利厚生を促進するための事業

- ・日本消防協会から提供される各種物品等に係る斡旋を行う。

5. 施設貸与事業

千葉県消防会館を有効利用するための事業

- ・千葉県消防会館の空き室を、消防関係団体等に有償貸与して有効活用を図る。

6. 法人活動事業

協会活動に資するための事業

- ・千葉県や（公財）日本消防協会等の諸会議及び諸行事に出席し、情報収集、意見交換等を行う。
- ・理事会、評議員会等を開催する。

令和5年度主要行事予定

行 事 名	日 時	場 所
1 消防学校初任科第175期入校式	4月7日(金)11:00～	千葉県消防学校
2 地域振興事務所等における消防事務連絡会議	4月11日(火)14:00～	千葉県消防学校 (防災研修センター)
3 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会監査	5月10日(水)11:00～	千葉県消防学校 (防災研修センター)
4 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会役員会	5月22日(月)11:00～	ポートプラザちば (ポートルーム)
5 千葉県少年婦人防火委員会監査	5月23日(火)11:00～	千葉県消防学校 (防災研修センター)
6 消防協会監事会	5月26日(金)10:30～	千葉県消防学校
7 千葉県少年婦人防火委員会	5月29日(月)11:00～	ポートプラザちば
8 定時理事会	5月31日(水)10:30～	ポートプラザちば
9 定時評議員会	6月29日(木)10:30～	ポートプラザちば
10 第59回千葉県消防操法大会	7月22日(土)9:00～	千葉県消防学校
11 第58回消防長・消防団長会議	8月	
12 防火・防災ポスター展表彰式	8月22日(火)	千葉県庁
13 第44回九都県市合同防災訓練	9月2日(土)10:00～	我孫子市
14 婦人防火研修会	9月上旬	千葉県消防学校
15 消防学校初任科第175期卒業式	9月14日(木)13:30～	千葉県消防学校
16 第42回全国消防殉職者慰霊祭	9月14日(木)10:00～	ニッショーホール
17 消防学校初任科第176期入校式	9月29日(金)11:00～	千葉県消防学校
18 第26回全国女性消防操法大会	10月21日(土)9:00～	東京臨海防災公園
19 第59回消防殉職者慰霊祭	11月	千葉県消防学校
20 第28回全国女性消防団員活性化石川大会	11月16日(木)10:00～	金沢市
21 消防団員指導員研修	11月25日(土)～26日(日)	千葉県消防学校
22 臨時理事会	12月	ポートプラザちば
23 女性消防団員活性化シンポジウム	令和6年2月	ポートプラザちば
24 第76回日本消防協会定例表彰式	令和6年3月8日(金)13:00～	ニッショーホール
25 定時理事会	令和6年3月	ポートプラザちば
26 消防学校初任科第176期卒業式	令和6年3月14日(木)13:30～	千葉県消防学校
27 第74回千葉県消防大会	令和6年3月22日(金)	青葉の森芸術文化ホール
28 臨時評議員会	令和6年3月	ポートプラザちば

第174期 消防職員初任科生卒業式

千葉県消防学校

令和5年3月17日（金）、千葉県消防学校大講堂において消防職員初任科第174期の卒業式が行われました。

10月4日の入校から6か月、28所属148名の若々しい消防職員が厳しい研修を終了し、消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り、第一線で活躍することになります。

当日は、各消防（局）本部消防長が見守る中厳粛に執り行われ、国歌静聴の後、卒業生の氏名が点呼され、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け、優秀賞12名、努力賞9名の表彰と卒業生全員に記念品が贈呈されました。

その後、小平千葉県消防学校長の告辞、千葉県知事（代理生稲防災危機管理部長）、千葉県消防協会長（代理芝岸副会長）、白井千葉県消防長会長の祝辞に続き卒業生を代表して富里市消防本部の金田力哉君から答辞が述べられ、最後に校歌が演奏され終了しました。



卒業生答辞（富里市消防本部 金田力哉君）



小平学校長告辞



千葉県知事（代理 生稲防災危機管理部長）祝辞



消防協会長（代理 芝岸副会長）祝辞



白井消防長会長祝辞

第174期 消防職員初任科実科査閲

千葉県消防学校

卒業を控えて、16日（木）には、消防学校屋外訓練場において教育訓練の成果を披露する「実科査閲」が消防関係者、御家族や一般の方々など多くの皆さんが見詰めるなかで行われました。学生集合、通常点検、小隊訓練、機器取扱訓練、救急訓練、救助訓練、体力向上体操、そして最後に初任科で習得した消防活動の集大成として、全員による総合活動訓練では火災防ぎょ活動の部隊行動を基本として救出訓練と一斉放水訓練が行われ大きな拍手が送られていました。



学生集合



通常点検



小隊訓練



機器取扱訓練



救急訓練



救助訓練



体力向上体操



総合活動訓練



総合活動訓練



一斉放水訓練

第175期 消防職員初任科入校式 千葉県消防学校

令和5年4月7日(金)、千葉県消防学校大講堂において、消防職員初任科第175期の入校式が行われ、29所属142名の若々しい学生が入校しこれから6か月間の厳しい研修が始まります。

当日は、各消防(局)本部消防長が見守る中厳粛に執り行われ、一同敬礼の後、開式のことば国歌静聴、入校生指名点呼に続いて大石学校長の式辞が述べられ、来賓として千葉県知事(代理 添谷防災危機管理部長)、消防協会長(代理 安達副会長)、白井消防長会長からの祝辞がありました。

続いて、入校生代表(習志野市消防本部 井上直輝君)からの宣誓が行われ、研修に励んで一人前の消防職員になる旨の誓いが述べられました。



入校生宣誓(習志野市消防本部 井上直輝君)



大石学校長の式辞



千葉県知事(代理 添谷防災危機管理部長)の祝辞



消防協会長(代理 安達副会長)の祝辞



白井消防長会長の祝辞

勲芳千歳

第73回千葉県消防大会開催

令和5年3月24日(金)、千葉市中央区にある「青葉の森公園芸術文化ホール」において第73回千葉県消防大会が行われました。

この大会は、県下消防職員・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図るため、千葉県、(公財)千葉県消防協会、千葉県少年婦人防火委員会の主催により毎年行われていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となります。



当日は開会のことばに始まり、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうに続き、熊谷千葉県知事、石橋消防協会長の挨拶、消防庁長官(代理鶴巻消防大学校長)や秋本日本消防協会長等の来賓祝辞の後、それぞれの表彰と叙勲や褒章等の受章者の紹介が行われました。

それぞれ受章された方、またご家族の方、誠におめでとうございます。

第73回千葉県消防大会受章者等一覧

表彰種別	表彰者数
消防庁長官表彰	功労章4名・永年勤続功労章98名
千葉県知事表彰	特別功労章15名、永年勤続功労章60名、配偶者功労38名 石油コンビナート等防災関係1団体、消防団協力事業所感謝状5団体
日本消防協会長表彰	特別功労章1名、竿頭綬1機関、功績章32名、精績章77名 勤続章260名
千葉県消防協会長表彰	特別功労章8名、永年勤続功労章353名、配偶者功労277名 功績章33名、表彰状13名、特別表彰2機関、感謝状14名
千葉県少年婦人防火委員会 会長表彰	優良幼年消防クラブ表彰1クラブ、優良少年消防クラブ表彰1クラブ 優良婦人消防クラブ表彰1クラブ
叙勲・褒章	春の叙勲12名、秋の叙勲13名、第38回危険業務従事者叙勲32名 第39回危険業務従事者叙勲30名、春の褒章4名、秋の褒章4名 消防功労者総務大臣表彰1名、文化の日千葉県功労者表彰3名



熊谷千葉県知事挨拶



石橋消防協会長挨拶



秋本日本消防協会長祝辞



山本県議会副議長祝辞



千葉県知事表彰



千葉県少年婦人防火委員会会長表彰

第75回 日本消防協会定例表彰式

令和5年3月3日(金)、「第75回日本消防協会定例表彰式」が日本消防会館ニッショーホールで全国各地の消防団員、消防職員、消防協会関係者等の参加により執り行われました。永年にわたる顕著な功績が認められ、特別表彰「まとい」10団を初め、特別功労章10名、優良消防団(表彰旗)35団、優良消防団(竿頭綬)87団、功績章911名、精績章2,191名、勤続章9,237名、優良婦人消防隊(表彰旗)6隊、優良婦人消防隊員(功績章)9名、永年勤続職員表彰10名の表彰が行われました。

本県では、特別功労章1名、優良消防団(竿頭綬)1団体(習志野市消防団)、功績章32名、精績章77名、勤続章260名が受章し、会場へは、特別功労章を受章された芝岸協会副会長、協会専務理事及び事務局が出席しました。



特別功労章を受章する芝岸副会長

わが町の消防団 香取広域市町村圏事務組合香取市消防団

香取市は、千葉県の北東部、茨城県に隣接するところに位置し、市北部には水郷の風情が漂う利根川が東西に流れ、その流域には水田地帯が広がり、南部は山林と畑を中心とした平坦地で北総台地の一角を占め、温暖な気候と肥沃な農地に恵まれ、首都圏の食糧生産地の役割を担い、古くから早場米産地としても知られる「米どころ」です。



日本の原風景を感じさせる田園・里山や、水郷筑波国定公園に位置する利根川周辺の自然景観をはじめ、東国三社の一つ「香取神宮」、日本で初めて実測日本地図を作成した「伊能忠敬」（関係資料は国宝指定）の旧宅ほか、江戸時代から昭和初期に建てられた商家や土蔵が軒を連ねる佐原の町並み（国選定重要伝統的建造物群保存地区）が見られるなど、香取市は水と緑に囲まれ、自然・歴史・文化に彩られたまちです。



市域は、東西約21.2km、南北約22.7km、面積は262.35km²で、県内第4位の面積を有しています。

香取市の令和5年1月1日現在の人口は71,868人であり、消防団組織は、1本部6支団18分団119部、条例定数1,299名で、現有設備については、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車11台、小型動力ポンプ付積載車100台、小型動力ポンプ7台を保有し、川口消防団長の指揮の下、実員1,174名（うち女性4名）の団員で、地域の特色ある団運営を生かしながら、「自分達の地域は自分達で守る」という郷土愛精神を常に持ち、地域の防災

活動に励んでいます。

主な年間行事は、年度始めに規律訓練や資機材取扱訓練を実施し、消防団員としての心構えや安全管理の重要性を習得しています。さらに、香取市は一級河川である利根川をはじめとし多くの河川が流れていることから、出水期前である5月に、水防工法習得のため実践的な水防実技研修会を実施しております。

夏以降にかけては、ポンプ点検を兼ねた放水訓練、中継送水訓練を実施し、ポンプ等の取扱い技術の向上を図りながら、火災期に備え万全を期しています。この他にも、普通救命講習の受講や、火災予防週間中の防火パレード、年末の夜間巡ら警戒、幹部巡視を実施し、消防施設・設備等の点検と併せて、貸与された備品等が適正に管理されているかの確認を行うなど、広範囲に活動を実施しています。

また、令和元年に発生した房総半島台風により、市内ではライフラインの停止、家屋の損壊、屋根瓦の飛散など甚大な被害を受けた中、消防団員による被害調査、倒木撤去、安否確認など地域の援助活動を実施した経験は今も若い団員に語り継がれています。

近年、大規模地震や記録的な集中豪雨等が国内随所で多発し甚大な被害がでて中、地域の必要不可欠な組織として、団員各個の安全管理を徹底し、地域と密接な活動を展開し住民から愛される消防団を目指し、香取市の将来都市像である「豊かな暮らしを育む歴史文化・自然の郷 香取～人が輝き 人が集うまち～」の実現に向け、一翼を担っていきたいと思います。



東 西 南 北

東 西 南 北 流鉄流山線の車内に防火ポスターを掲載！ 流山市消防本部

流山市消防本部では、令和4年11月9日（水）から20（日）まで、市のローカル鉄道である流鉄流山線の車内中吊り広告に防火ポスターを掲載しました。この作品は、市内の小学5年生と中学2年生を対象に、応募のあった262作品の中から厳選され、見事入賞した33作品となります。

中吊り広告に掲示することにより、入選された方やそのご家族、また流鉄流山線の利用者様をはじめ広く防火意識の高揚を図ることが出来ました。

このような少年期からの火災予防の取り組みを通じて、未来の火災予防に繋がることを願っています。



東 西 南 北 緊急車両大集合！ NEVC2022を開催！ 成田市消防本部

市民の火災・災害に対する関心を高め、防火防災及び危機管理意識の向上を図ることを目的としたイベントを開催しました。

消防・警察・自衛隊・NEXCO東日本・東京電力・レッカー業者が参加し、屋外会場では緊急車両15台の展示と運転席への体験乗車を実施しました。消防音楽隊のコンサートでは演奏曲に合わせてすべての緊急車両が回転灯を点灯させ、公式ゆるキャラ「うなりくん（成田市）」「なんじゃもん（神崎町）」が踊り、会場を盛り上げました。

屋内会場ではちびっこ消防車の展示と体験乗車・装備品の展示・広報パネルの展示により火災予防と災害対策の広報・啓発を行いました。

来場者は約3,000人でケーブルテレビ2局・市内FMラジオで中継し、来場していない市民へも火災予防と災害対策の広報・啓発を行うことが出来ました。

NEVC2023開催に向け調整中！



東 西 南 北 夜間特別査察を実施 松戸市消防局

松戸市消防局は、令和4年11月18日（金）市内繁華街で主に夜間営業を行うテナントが入居している対象物に対して、消防法令に基づく効果的な指導を行うことを目的に、夜間特別査察を実施しました。

通常の査察は主に日中に実施しますが、実施対象物は昼間に営業をしていないテナントが多いことから、夜間に立入検査を実施することで、営業実態を確認し適正な指導が可能と考え実施したものです。

査察は、消防局予防課と松戸警察署生活安全課と合同で実施し、夜間営業が中心のテナントに対して、防火管理業務の状況、避難経路及び防火施設の維持管理状況、放火防止状況や火気取扱い状況等を確認しました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和5年5月・6月

- 5月22日 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会役員会
- 29日 千葉県少年婦人防火委員会
- 31日 千葉県消防協会定時理事会
- 6月29日 千葉県消防協会定時評議員会

2023年度 全国統一防火標語
「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

<表紙の説明>

令和4年度佐倉市消防団女性消防部「火災予防啓発活動」 印旛支部

佐倉市消防団女性消防部では、秋季・春季火災予防運動及び歳末警戒の実施期間に、市内の各駅において、火災予防啓発活動を実施しています。

当日は、1,000個の啓発用ティッシュを駅利用者へ配布し、火災予防の声掛けと消防団のPRを約1時間実施しました。

女性消防部の活動は、訓練や研修など多岐にわたりますが、このような市民の方々と直接触れ合える活動も継続しながら、「安全・安心なまちづくり」の実現のため、日々活動していきます。



<記事の訂正について>

令和5年2・3月号の9ページ「令和4年度叙勲・褒章受章者の紹介」の中で佐々木喜代枝様の「消防功労者総務大臣表彰」受章の掲載が漏れてしまい、お詫びし修正します。改めて御紹介するとともに、御迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。

《消防功労者総務大臣表彰 1名》

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長 佐々木喜代枝